

(様式第3号)

企業・団体名(伸商機工株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・全社で性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別がないことを確認している。 【予定】今後、就業規則への規定や社内勉強会の実施を進める。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・全社でセクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントがないことを確認している。 【予定】今後、就業規則への規定や社内勉強会の実施を進める。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・毎日のミーティングで各グループの残業予定を確認し、月単位では「時間外労働一覧表」により全体を管理している。 ・上記実施により、近年は大幅に時間外労働が削減されている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	・当社では現在、外国人労働者の雇用はないが、今後、海外からの実習生を受け入れる計画もあるため、差別や人権侵害のない体制を構築中である。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・7月からの運動に取組み、朝夕の工場内整理整頓や身だしなみのチェックなどによる事故予防措置を講じている。 ・社内および他社での労働災害事例を全社で共有する。					3			8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・各部門リーダーがメンバーに積極的に声掛けをすることでお互いに気遣う企業風土が醸成されている。 ・外部機関(保険会社)による研修・勉強会を開催し、メンタルサポートサービスを導入している。					3												
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・長野看護学校からの就業受入れ体制を構築済み。 ・高齢者の雇用継続中。 ・産休育休を就業規則に規定しており、既に制度利用実績がある。						5.1 5.5		8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・各種免許取得や技能検定を奨励し、これら費用は全額会社負担としている。 ・幅広い技術習得のため、多能工化を進めている。 ・当社に必要とする板金マイスターから従業員に対する					4	5.5		8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・社会保険労務士の指導により、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。						5.5		8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・毎年、しん肺検査(3年に一度)を含めた健康診断を実施中。 ・長野県健康経営登録制度に登録済み。 ・労働安全衛生法に基づく特定化学物質検査実施中。							3		8								
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物は適切な業者へ処理委託し、必要な廃棄物はマニュアルによる管理を実施している。 ・粉塵、砥石、フィルター等の適切な処理実施中。										11.6	12		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・電気ガス軽油等の使用量を把握・管理している。 【予定】温室効果ガスの排出量を把握していく。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・製造や配送の効率化による排出削減に取り組んでいる。 【予定】自社の温室効果ガスの排出量を把握する。								7.2 7.3			12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本		【予定】	【予定】一般的有害化学物質の使用はないが、法令規制対象となる有害化学物質がないことを再度確認する。					3.9		6.3			11.6	12.4						

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定